



還暦おめでとうございます!

1966年生(昭和41年)60歳

一條明美さん  
三浦健一さん

午年生まれ

1942年生(昭和17年)84歳

佐久間国衛さん

1954年生(昭和29年)72歳

高橋洋子さん

七福神も木狹判を押す  
最高の午年になるといいですね

### 園長挨拶

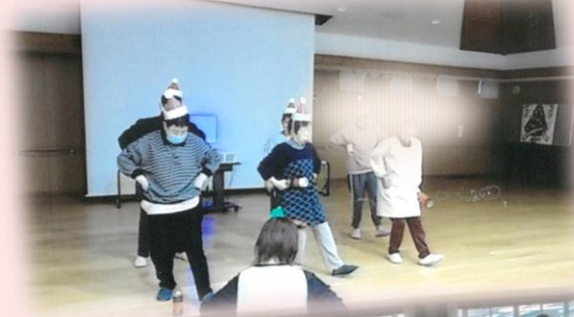
今年は例年にも増して春の陽気が続き、敷地内の梅の花も満開に咲き誇っています。当園の利用者の皆さまも、この穏やかな天気のようにゆったりと過ごされています。

さて、このたび従来は紙面で発行していた「はぐくみ学園通信『おくら林』」を、時代の流れに合わせてデジタル化することとなりました。これまで以上にご家族の皆さまをはじめ、多くの方々に活動の様子を知っていただき、さまざまなご意見やアドバイスを頂ければと考えております。

自然に囲まれた園内では四季折々の花が咲き、時には野生動物が遊びに来ることもある、とても魅力的な環境です。興味を持たれた方は、ぜひ散歩がてら当園に足をお運びいただければ幸いです。



はぐくみの日常と、輝く作品





# 表彰おめでとうございます

日頃の努力を讃えて。さらなるご活躍を!

## 宮城県社会福祉功労者知事表彰

園長 高橋圭三さん  
支援係長 高橋恵美さん

## 宮城県社会福祉協議会事業功労者表彰

グループホーム長 笠松光久さん  
給食主任 我妻正祥さん

# 輝く仲間たち

(新スタッフ紹介)

はぐくみ学園に入社して一年になろうとしています。厨房の先輩方や支援員の皆様に支えられ、日々楽しく働かせていただいております。

今後も、利用者の皆様が笑顔になれるお食事を提供できるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。

大泉歩さん

今年の1月より、支援員として働いています。

利用者の皆様の笑顔を大切にしながら毎日楽しく過ごして頂ける様、支援して行きたいと思います。

一日も早く皆様のお役に立てる様に頑張ります。

一條明子さん

今年の1月より、支援員として働いています。

以前は老人ホームで働いていました。初めは戸惑うこともありましたが、利用者の皆様が笑顔で毎日を過ごして頂けるよう支援して行きたいと思います。

大平みゆきさん

令和8年2月1日より支援員補助として働いています。

以前はデイサービスでお年寄りの介護をしていました。障がい者支援は初めての経験ですが、一日でも早く仕事を覚えて皆さんのお役に立てるように頑張りますので、ご指導の程、よろしくお願い致します。

中島恵さん



# 新しい出会い

(新入所)

## 山本欣宏さん

令和7年11月6日に入所しました。  
柴田町出身の山本欣宏さんです。野球の好きな58歳です。普段は物静かに過ごしている事が多いですが、時々楽しそうに笑ってあれやこれやと職員や周りの利用者に話をしてくれます。毎日の日課にも慣れてきて、自分から掃除の手伝い等をしてくれることもあります。穏やかに楽しく過ごせる様にお互い頑張っていきましょう。

## 早川孝弘さん

丸森町出身で、令和8年3月1日に入所しました。  
いちばんの楽しみはおやつの時間で待ち遠しいです。  
早く学園生活に慣れて、皆と仲良く過ごせるようになりたいです。  
よろしくお願いします。

# 健康だより

看護師、栄養士より

## 看護師より

「いつもと違う」違和感の重要性  
知的障害の方は体調不良を自覚して言葉で伝えることができるとは限らないため、表情、行動、食事、排泄、睡眠など日頃の些細な違和感が以上の早期発見の第一歩となります。そのため利用者さんの一人ひとりの健康に関する情報、障害特性、非言語コミュニケーションの方法を生活支援員、看護師と共有しながら日常の健康管理、病気の予防と早期発見に努めていこうと思います。

## 栄養士より

はぐくみ学園では、利用者さんが毎日喜んで給食を食べてくれます。特にパンメニューが人気で、パンの日はいつもより明るい表情の利用者さんが多く見られます。食材を柔らかくしたり味を工夫したりしながら、利用者さんが「ごはん楽しみ！」と笑顔になれるような給食を目指しています。今後も利用者さんの「おいしい」を増やしていけるよう、がんばります。



## 苦情解決状況報告

令和 7 年度の解決状況は 4 件でした。

- ・隣の居室の利用者が騒々しい。
- ・食堂の席、2人で同テーブル使用としていたが兼ね合いが悪くなってしまう。
- ・他の利用者になんとかいを出し、騒がせている。
- ・黙って居室に入り、私物をいたずらする。

苦情を聞き取り丁寧にに対応する事で、又、トラブルの原因となる方には早めに声掛けをし、解決に繋げています。

苦情解決委員より

### 編集後記

今年度は面会や帰省する事が出来、利用者の方々も満足されていたのではないのでしょうか。笑顔で過ごしている様子が沢山見られました。  
新年度はインターネットを通じ、学園の情報を発信して行きたいと思います。

発行者: 障害者支援施設 はぐくみ学園  
住所: 宮城県角田市島田字御蔵林 59  
電話: 0224-62-3321  
URL: <http://www.k-hagakumi.com/>

# 介護職員等処遇改善加算に係る情報公表(見える化要件)

## 介護職員等処遇改善加算に係る情報公表(見える化要件)

令和6(2024)年6月の介護報酬改定において今までの加算が一本化され「介護職員等処遇改善加算」が創設されました。

加算要件のひとつである職場環境等要件の当法人の取り組みについて下記の通り公表いたします。

### 【処遇改善加算取得状況について】

各事業所の介護職員等処遇改善加算(以下、新加算)の取得状況は以下の通りです。

#### ●加算算定状況

##### 介護職員等処遇改善加算(Ⅰ)

### 【職場環境要件の提示について】

見える化要件に基づき、介護職員等処遇改善加算の取得状況を報告し、賃金改善以外の処遇改善に関する具体的な取り組みに内容について、下記に掲示します。

#### ●入職促進に向けた取組

✓	①法人や事業所の経営理念や支援方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化
	②事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築
✓	③他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築(採用の実績でも可)
	④職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施

●資質の向上やキャリアアップに向けた支援

✓	⑤働きながら国家資格等の取得を目指す者に対する研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する各国家資格の生涯研修制度、サービス管理責任者研修、喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修等の業務関連専門技術研修の受講支援等
✓	⑥研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動によるキャリアサポート制度等の導入
	⑦エルダー・メンター(仕事やメンタル面のサポート等をする担当者)制度等導入
✓	⑧上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保

●両立支援・多様な働き方の推進

	⑨子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指すための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備
✓	⑩職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備
✓	⑪有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標(例えば、1週間以上の休暇を年に●回取得、付与日数のうち●%以上を取得)を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけ等に取り組んでいる
✓	⑫有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消に取り組んでいる
	⑬障害を有する者でも働きやすい職場環境の構築や勤務シフトの配慮

●腰痛を含む心身の健康管理

✓	⑭業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実
✓	⑮短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業者のための休憩室の設置等健康管理対策の実施
	⑯福祉・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援やリフト等の活用、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施
✓	⑰事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備

●生産性向上のための取組

✓	⑱現場の課題の見える化(課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等)を実施している
✓	⑲5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備を行っている
✓	⑳業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている
	㉑業務支援ソフト(記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。)、情報端末(タブレット端末、スマートフォン端末等)の導入
	㉒介護ロボット(見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等)又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器(ビジネスチャットツール含む)の導入
✓	㉓業務内容の明確化と役割分担を行い、福祉・介護職員が支援に集中できる環境を整備。特に、間接業務(食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ゴミ捨て等)がある場合は、間接支援業務に従事する者の活用や外注等で担うなど、役割の見直しやシフトの組み換え等を行う。
✓	㉔各種委員会の共同設置、各種指針・計画の共同策定、物品の共同購入等の事務処理部門の集約、共同で行うICTインフラの整備、人事管理システムや福利厚生システム等の共通化等、協働化を通じた職場環境の改善に向けた取組の実施
	㉔の2 1法人あたり1の施設又は事業所のみを運営するような法人等の小規模事業者であり、㉔の取組を実施している

●やりがい・働きがいの醸成

✓	㉕ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善
	㉖地域社会への参加・包容(インクルージョン)の推進のため、モチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施
✓	㉗利用者本位の支援方針など障害福祉や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供
✓	㉘支援の好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供

